

## 「教育実習体験レポート」

[私立中学校・高等学校 社会]

実習の成果（できたこと、得たもの等）

○授業・教科では

- ・授業づくりをしていく中で、教材研究の楽しさを感じた。
- ・今回授業を行った分野で、どこで発問をしてどのような流れでやっていくか、毎回の授業を振り返りながらできたことで、少しずつより良い授業ができたと思う。その中でも「メリハリをつけること」「答えやすい発問をすること」を心がけました。今後同じ分野をやるときのイメージがより湧いた。
- ・パワーポイントや動画も交えながら授業を行ったことで、生徒たちにより具体的なイメージを湧かすことができたと思う。

○学級経営では

- ・ほとんどの生徒と掃除の時間などを通じて話すことができた。
- ・所属している部活など、さまざまな話題で話しながら生徒たちの顔と名前を覚えることができ、授業でも実習後半にはスムーズに発問したりすることができた。
- ・授業中にはあまり発言しないような生徒でも、掃除の時間などで親しくなっていくと自然と自分から話しかけてくれ、最後の終礼は感動でした。

○生徒対応（生徒とのふれあいも）では

- ・誰に対しても平等に接すること。

○実習生活全般では

- ・授業プリントをまとめて冊子にして印刷しておいたことで、毎回配布する必要がなく、スムーズに授業に入ることができた。事前に準備していたことで、教材作成に時間を割くよりも、授業の組み立てに時間を割くことができた。

実習でできなかった課題（できなかったこと等）

○授業・教科では

- ・一方的な授業ではなく発問を増やしたり、動画なども交えて興味・関心が湧きやすいように生徒参加型の授業にすることを心がけたが、中には眠たくなってしまっている生徒もいたりしたので、もう少し工夫をすることができると思う。
- ・指導案通りにいかないことは分かっていたが、かなり時間に追われて授業がカツカツになってしまった。

・授業では、教室前方の生徒たちは割と積極的に参加してくれている印象だったが、後方の生徒たちは集中できていない生徒たちもいたので、教室全体で参加型の授業をするためには、工夫次第でできるのではないかと感じた。

#### ○学級経営では

・ほとんどのクラスの生徒たちの名前と顔を覚えることができたが、全員を覚えることはできなかった。

#### ○実習生活全般では

・3週間の実習を通して、自分が高校生の頃には気づけなかった授業づくりの大変さ、それに加えて部活の顧問、校務分掌、会議、保護者対応など、さまざまな仕事内容をこなす先生方の大変さが分かりました。

・特に、実習中は授業づくりで精一杯で他のことには手が回らない状態だったので、特に部活動指導にあたっている先生方など、本当に素晴らしいなと思いました。

・実際に自分が教師となった際、授業づくりだけで大変だと身に染みて分かったので、いかにちょっとした空き時間や、スキマ時間を見つけて授業づくり、教材づくり、教材研究を進めるかが大切だなと感じた。

#### 実習を行った感想

教育実習は、長いようで短いような本当にあっという間でした。実習で学んだことは大きく分けて2つあります。

まず、1つ目は「授業で知識をつけさせることだけが教師の役割ではない」ということです。もちろん教材や課題に向き合い、生徒にとって分かりやすく楽しい授業を展開することは大切です。そのために実習中は、先生方に丁寧にご指導いただきながら指導案を訂正したり、教材研究を繰り返したりして授業に臨みました。授業中は、何人かの生徒たちが積極的に発表して授業を盛り上げようとしてくれました。授業は教師だけではなく、生徒と共に作り上げるものであるとともに、そのためには日頃からの教師と生徒の信頼関係づくりが大切であると実感しました。また、上記に加えて教師の大きな役割だと感じたのは、生徒の豊かな心を育むことです。感情を表に出す子もいれば、出さない子もいます。常に広い視野をもち、トラブルを発見すれば、その場その場で指導することが重要であると学びました。

2つ目は、「生半可な気持ちで教師は務まらない」ということです。これは3週間の実習を過ごしていく中で感じたことです。「子どもが好き」「教えるのが好き」というような気持ちだけでは務まらないということです。「子どもが好き」であることは大前提として、教師になってからも目標を持ち続ける向上心を妥協しないことが重要だと思います。教師は常に学び続け、絶えず教材研究・授業改善を行うことが出来なければ務まらない職業だと感じ

ました。

中学・高校、学校や子どもの雰囲気、地域性は様々です。教師になってから、いろいろな壁や困難が多々あると思いますが、常に向上心を持ち、子どもたち一人ひとりと向き合うなかで長所を認め、一人ひとりの可能性を引き出すことができる教師になりたいです。実習において、私は授業や掃除の時間を通して毎日クラスの子とコミュニケーションを取りました。一緒に掃除をしながら会話することで、必然的に一人ひとりの個性を見つけることができ、子どもの長所を見つけました。私はその時に「生徒たちがお互いの長所を認め合えるような学級経営をしたい」と強く思いました。

最後のお別れするとき、生徒たちが「ありがとう」「授業分かりやすかった」と言ってくれた言葉が心に深く残っています。3週間お世話になった先生方や子どもたちへの感謝の気持ちを忘れずに、必ず教師になって恩を返したいです。

今後に向けて

これからに向けて、まずは目の前の教員採用試験を頑張りたいです。結果はどうか、教師をしながら専門性を磨いて理解を深めていきたいです。実習で学んだことを活かし、一歩ずつ前へ進んでいきたいと思っています。